

2022年4月1日

運輸安全マネジメントに関する取り組みについて

ケイカン交通株式会社では、輸送の安全を確保するために、以下のとおり全社役職員が一丸となり取り組んでまいります。

1. 輸送の安全に関する基本的な方針

- (1) 社長は輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社内において輸送の安全確保を行う組織体制の設備に努めるとともに、現業における安全に関する実際の状況や関係者の情報を十分踏まえつつ、従業員に対し輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底させる役割を負います。
- (2) 社長及び役職員は、全従業員に対し各々の職責をはたしかつ組織的に連携して業務を遂行させることにより、運輸の安全に関する計画の策定、実行、評価、改善を確実にすることを事業運営上の方針に定めます。
- (3) 輸送の安全に関する情報については、適正に公表いたします。

2. 輸送の安全に関する重点施策

- (1) 輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底し、関係法令及び安全管理規程に定められた事項を遵守いたします。
- (2) 輸送の安全に関する費用支出及び投資を優先的かつ効率的に行うように努めます。
- (3) 輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正措置又は予防措置を講じます。
- (4) 輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、社内において必要な情報を伝達、共有いたします。
- (5) 輸送の安全に関する教育及び研修に関する具体的な計画を策定し、これを的確に実施いたします。

3. 輸送の安全に関する目標（安全目標）及び目標の達成状況

（対象期間）2021年4月1日～2022年3月31日

(1) 2021年度目標

重大事故発生件数	0件
事故（有責・他責を含む）発生総件数	10件

(2) 達成状況

2021年度の事故件数は26件発生したため目標を達成することができませんでした。重大事故は0件の目標を達成いたしました。

(3) 2022年度目標

重大事故発生件数	0件
事故（有責・他責を含む）発生総件数	20件以内

4. 輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統（別紙1のとおり）

5. 輸送の安全に関する投資・費用等

(1) 設備投資計画

ジャパントクシー2台	6,200千円
アルファード1台	3,700千円
貸切バス安全性評価認定申請費	130千円

(2) 教育・研修

- ① 安全マネジメント委員会の活動として点呼立会を計画的に実施し運転手の指導を行う。
- ② 全運転手を対象にドライブレコーダーの記録を活用した教習を実施する。
- ③ 事故惹起者に「なぜなぜ分析」を行い、分析内容を教習に活用し事故抑制を図る。

6. 輸送の安全に関する投資費用等実績額（2021年度）

ドライブレコーダー（14台、1,000千円）、運転記録証明書8千円、アルコール検知器用免許リーダー（2台、396千円）、デジタルタコグラフ更新費1台、582千円）、ジャパントクシー用空気清浄機及びモニター（2台、1,400円）

7. 事故災害等に関する報告連絡体制（別紙2のとおり）

8. 安全統括管理者

内山 卓也

9. 安全管理規程（別紙3のとおり）

10. 輸送の安全に関する教育及び研修の計画

(1) 全運転手教習

全運転士を対象に「安全運行・接客接遇」に関する教育を実施する。

11. 輸送に安全に関する内部監査結果及びそれを踏まえた措置内容

2021年度の状況について、京福電気鉄道株式会社監査室が内部監査を実施し、適正に業務が行われていると確認されています。